

# 「都市教養課題研究」実施報告

A Report on Urban Culture Workshop

和田倫明<sup>1)</sup>

Wada, Michiaki<sup>1)</sup>

要旨：本年度から実施した集中講義「都市教養課題研究」では、東京近郊の宗教施設を四日間で30箇所程度見学した。その実施状況を報告する。

キーワード：公民科教育，宗教教育，倫理教育

## 1. 授業の目的

この授業は、カリキュラム上は「都市教養」科目の集中講義として設定されている。この科目群は、産業技術高専設立に当たって「東京工学」と並んで設置されたものだが、理念のみ先走って実体のない名目であったことは否定しがたい。ただ、実態として、わが国には古代以来活発な文化交流があり、外来文化が土着化して伝統文化を形成してきており、とりわけ首都圏においては、多様な異文化が常に流入し流動し、あるいは定着している。そこで、その中から宗教文化に着目し、学校から日帰りで訪れることのできる、多様な宗教施設を回り、形式上は「都市生活の」特徴としてそれをなぞりつつ、学習者には人類に普遍性を持つ宗教文化への関心を高めさせようという試みとして実施したものである。

## 2. 授業の計画

この授業は、半日程度の事前学習を行ったうえで、4日間の現地踏査を行い、レポートを作成するという形式で行った。この4日間は夏季休業中の、連続しない日で、現地集合・解散であるが昼食をはさんでほぼ全日、徒歩・路線バス・電車利用で回る。一単位（8時間×4日）の計算である。

**事前指導：**今回は最初の実施でもあり、受講希望者がどのくらい集まるか、またその参加意欲についても、まったく見当がつかなかった。しかし、担当者一名が徒歩・電車・路線バスで引率することを考え、定員を10名程度としたので、あらかじめ地歴公民の成績で絞り込み、さらに基礎知識の講習を行って理解度テストを行うという条件にした。

実際に募集したところ、最初の段階で、受講希望者が20名以上になったので、成績で12名に絞ったのだが、最終的には5名の履修となった。理由は主として日程的な問題であり、インターンシップや他の集中講義との重複があったためである。この点はあらかじめ考慮して、4日中3日の参加でも単位は取れること、他講座との重複に関しては実質的に公欠扱いとし、別途自主研修を行えば参加と同等に扱うとしたが、敬遠されたようである。

また、宗教施設の見学ということで、事前に本人・保護者に趣旨を十分理解し、了承を得る必要があった。「履修の手引き」では以下のように説明している

この授業は、江戸・東京のさまざまな立場の人々が、宗教にどのように関わってきたかを体験的に理解し、人間にとって宗教とは何かを深く考察させるためのものです。神道・仏教の諸宗派、キリスト教の諸教派、さらに道教やイスラームの、東京並びにその近郊にある諸施設を訪問し、可能な場合は説明をうかがいます。

学生個人やご家族には、それぞれ信仰する宗教があると思います。この授業は、当然ながら、特定の宗教を布教宣伝する意図は全くありませんし、あくまで「見学」という趣旨ですが、行く先で「参拝」「参詣」「礼拝」等と受け取られるような所為はどうしても生じると思われます。また説明をいただく場合にも、そのような発言がある可能性は否定できません。したがって、この授業に参加するには、すでにお知らせしたとおり、基本的にあらゆる宗教に対する敬意と尊重、寛容の精神が前提となります。この部

<sup>1)</sup> 東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科

分で学生本人ならびにご家族に同意いただけない場合は、受講を遠慮いただくほかありません。

また、見学に際しては、すべての見学先が、本質的に信仰の場であることを踏まえ、マナーを心得た態度・服装が求められることはいうまでもありません。これも事前にお知らせしたとおり、不適切な態度・服装が見られる場合は、教員の判断でお帰りいただくこととなります。

以上、やや特殊な集中授業となりますが、参加すればおそらくきわめて意義深く、忘れられない経験となるものと思います。暑い季節に、丸一日歩き回る事になりますので、今から体力をつけ、体調を整えておいてください。真摯で積極的な参加を期待します。

(「履修の手引き はじめに」、下線部ママ)

そのうえで、保護者に同意書を提出していただき、履修を決定した。なお、実地踏査のため、万が一に備えて、顔写真、保護者の緊急連絡先などの記入もお願いした。

授業計画は、別表1から4の通りである。今回は4日間のコースを設定したが、それぞれ交通機関の都合から設定したもので、日ごとのまとまったテーマがあるわけではない。

### 1日目：埼玉方面コース

このコースは東武東上線等を利用して、まず道教の聖天宮、ついで川越の教会と寺社を回る。道教では横浜の関帝廟がよく知られ、2日目のコースにも含まれるが、聖天宮は観光地を離れたところにあり、事前に依頼しておけば丁寧な解説を伺うこともできるので、道教について理解を深めるには格好の施設である。川越では喜多院（天台宗）が江戸幕府との由縁が深く、これも最終日に寛永寺を回るので、相互に建物を寄進し合っているなど、徳川三代と天海僧正の結びつきが体験的に理解できる。また五百羅漢像は、羅漢という存在の位置づけを学ぶこともさりながら、庶民の信仰の一つの姿をよくあらわしている。隣接する成田山川越別院（真言宗）では、定時の護摩行が行われており、間近で見ることができる。ほかに、立教大学の建築にかかわった建築家の設計になる煉瓦造りの美しい川越キリスト教会（聖公会）の教会堂も訪ねる。蓮馨寺（浄土宗）以後は自由行動とし、川越の町並みを自由に見学し、その中の神社や寺にも立ち寄ることができる。

### 2日目：横浜方面コース

このコースではまず鶴見の総持寺（曹洞宗）を見学する。ここでは定時拝観を予約することによって、寺の由来や、禅僧の生活について、解説を聞きながら回ることができる。ついで保土ヶ谷の神明社は真新しく新装され、摂末社が整然と並び、神社とは何かを知る上でコンパクトなモデルでもある。道を隔てた横浜ビジネスパークとの対比も印象的であるし、近くには古い庚申堂があり、民間信仰としての庚申様について触れることができる。午後は横浜山手で外国人墓地、山手カトリック教会などを見学し、沿道に存在する多様な教派の教会を確認することができる。さらに石川町に降りればものの数分で中華街に入り、関帝廟を見学できる。このように異文化圏がほとんど隣り合わせのように所在する様相を体験することもねらいである。

### 3日目：都内1コース

このコースは靖国神社から始める。靖国神社については、政治的な問題もあるが、その由来や現在の状況を客観的に理解することは重要である。遊就館見学はしないが、特別展「神風」見学を勧め（結果的に全員見学）、学生と同世代の若者たちの遺書などに触れることで、感じるものは大きいと思われる。本来はその後千鳥ヶ淵戦没者墓園を参拝、バチカン大使館、心法寺（浄土宗）を通過して四谷まで歩く予定であったが、この日も猛暑が襲い、熱射病も危惧されたので省略し、市谷から四谷まで電車での移動とした。四谷では聖イグナチオ教会（カトリック）を訪ね、3つの礼拝堂を見学する（当日はマリア聖堂は結婚式のため見学できなかった）。土曜日は大聖堂のオルガンの練習をしていることが多く、この日も雰囲気を楽しむことができた。ここからお茶の水に移動。湯島聖堂（儒教）は土日休日のみ大成殿の見学ができる。江戸幕府の学問と儒教との関係学ぶには残念ながら施設の資料不足であるが、儀礼に使われる道具の展示などは興味深い。ここから神田神社に回る。神明社で図式的に理解した神社の仕組みが、伝統ある規模の大きな神社ではどのようになっているかを確かめることができる。境内に水神社があり、日本橋から神田に河岸が移って神社も移ったが、築地には移転せず、築地には遥拝所があることを次のコースで確認することになる。ここも週末には資料館を見学することができ、近代の寺社建築についての解説が役立つ。建築において靖国神社や、次回見学する築地本願寺などともつながりがあることがわかる。このあとも徒歩で妻恋神社などを経由して湯島天満宮へ行く予定であったが、猛暑対応で地下鉄を利用することにした。天満宮のあとは上野公園

に入り、東照宮や散在する寛永寺（天台宗）をめぐる。

#### 4日目：都内2コース

最終日は愛宕神社から始まる。家康が創建したこの神社は江戸幕府とのつながりが深い。15日は月例祭で開帳がある。ふもとは総持寺（曹洞宗）の出張所があったり、仏教ルネサンスの活動でも知られる青松寺（曹洞宗）、増上寺の歴代僧正の卵塔が壮観の安蓮社にも立ち寄りつつ、増上寺（浄土宗）へ。9月15日は年3回の正五九会の日なので、黒本尊や経蔵の公開がある。特に経蔵は年三回、しかも晴天時のみの公開なので、暗闇の中で巨大な輪蔵を回すことができる、貴重な機会である。徳川家墓所も無料公開になる。その後、芝にも東照宮や大神宮があることを確認しつつ、築地へ向かう。築地市場には波除稲荷と水神社遥拝所があり、市場の存在とのかかわりを考えることができる。場外市場の中のビルには寺もある。その後、築地本願寺（浄土真宗本願寺派築地別院）へ向かう。信徒団体向けの、築地の地や寺の由来などの解説、パイプオルガンの演奏を聞くことができた。もともと浅草にあった寺が大火で焼きだされ、代わりに与えられたのが海の上だった。佃島の本願寺門徒たちの力でその海を埋め立てたのが築地。本願寺が建てられ、門前に市が立ったのが市場の始まりである。寛永寺や増上寺など幕府とのつながりの深い寺と違い、浄土真宗の寺は扱いが違ったと思われる。このあと東京ジャーミイへ。最近ではモスクも増えてきたが、ここはトルコとのつながりが深い、都内ではもっとも伝統あるイスラームのモスクである。今回は解説を伺うことができなかったが、わかりやすく内容も充実した無料のパンフレットなどが入手できる。その後、お茶の水へ行きニコライ堂、すなわち東京復活大聖堂（正教会）へ。お茶の水は前回のコースで来ているのだが、ここでは火曜日から金曜日に信徒のボランティアの解説を聞きながら見学できるので、この日に入れたのである。このときはアイコンに詳しい方で、丁寧に説明いただいた。最後に徒歩で秋葉原近くの柳森神社に寄る。小さな神社であるが江戸時代の民間信仰の名残が色濃く感じられる。ここからすぐ、神田川にかかるもっとも新しい橋を渡れば秋葉原駅である。

**まとめと評価：**5名の参加者のうち、1名はインターンシップ、2名は他の集中講義のため、3回の参加、他の2名が4回の参加となった。それぞれ、充実した内容のレポートが提出された。成績評価は参加意欲とレポートで行ったが、いずれの学生にも高評価が与えられた。

#### 学生の感想より：

・靖国神社の特攻隊の方々の書いた遺書が、今日一日の見学で一番印象に残りました。文章の中には特攻は名誉あることだとか、笑って死にますなど書いてあったけど、本当は死にたくないという思いがあったと思います。その気持ちを抑えて想う人に手紙を書いたのだと思うと、とても悲しくつらい気持ちになりました。イグナチオ教会は自分にとってはこの授業で初めての教会の見学でした。今まで日本の神社や寺を見て来たせいか、教会の見学はとても新鮮な気分でした。パイプオルガンの音がとてもきれいに聞こえて、それも記憶に残っています。あと、学業成就の場所がコースに入っていたのがありがたかったです。自分は来年進学するかもしれないので、絵馬は書いてないけど一応合格を祈っておきました。上野公園は何回か行ったことがあるけど、そこにある建物が寛永寺のものだとは知らなかったです。でも調べてから改めて行ってみると、今までは特に意識しなかった建物を意識して見れるようになったので、上野公園の違う面を見ることができたと思います。

・（聖天宮）道教のお宮ということで、参拝の方法などが他に比べて異なっている点が多かった。一つの石から掘った柱や釘を使わずに組まれた天井などとても芸術的なものも多かった。（川越キリスト教会）聞くことはできなかったが教会ならではのパイプオルガンがあり、キリスト教会の雰囲気味わうことができた。（喜多院）喜多院ゆかりの人物が徳川家康ということで、いろいろな品があってとても勉強になりました。また、五百羅漢ではさまざまな表情の羅漢様があり、それぞれどんな意味があるのか考えてしまいました。（成田山川越別院）普段あまり体験することのない護摩を体験することができたのでいい経験になりました。

・実際の授業の見学では、築地本願寺が一番印象に残りました。今まで見てきた寺とは全く違く、どちらかといえば教会のような見た目であったし、内装もパイプオルガンやスチームストーブなど、外国のものが取り込まれていました。しかし、まつっているのは阿弥陀如来で、どんなに外国チックな外見や内装であろうとやっぱり寺なんだな、ということも感じました。波除稲荷神社は二つの獅子がやはり印象的でした。あと、築地らしい様々な塚があって、それも面白かったです。東京ジャーミイは初のイスラーム寺院で、イスラームというと過激派がよくテロを起こしているの、少し不安でしたが、普通な感じでした。普通に挨拶をしてくれたりしたので、イスラームに対する考え方が少し変わりました。建物内はトルコ文化センターというだけあって、それらしい内装になっていました。トイレや足を洗うための水道、絨毯や金属の食器など文化

の違いを体感しました。ニコライ堂では基督教の十字架についての違いを教えてくださいました。先日外国人墓地で見かけた十字架の形の違いは教派の違いによるものなんだな、とわかりました。柳森神社については、秋葉原には何回か行ったことはあるけれど、全く知りませんでした。電気街という現代的な街の中にもこういう歴史ある古い神社があると、日本人が神を敬っているんだなという実感がわきます。全体を通して思ったことは、ひとことで寺、または神社といっても、土地や歴史的な出来事によって全く異なった形になっていくのだなと思いました。総持寺のような質素な寺もあれば、築地本願寺のような外国的な寺もある。また、仏教、基督教、イスラーム教など、宗教が違えばさらに大きな変化になる。そういうことがわかりました。高専の授業ではこういうことに触れることがなかったので、貴重な体験になったと思います。今回は寺や神社の見学が多かったけど、自分は教会に興味があったので、できれば教会の見学をもっと取り入れてほしかったと思います。

### 3. 成果と今後の課題

本年は最初の試みでもあり、その成果をここで挙げることは難しい。かなり厳しい条件の中で受講した学生たちの参加意欲は高く、担当者としては、ともに楽しむことができたというのが、現時点で言うことのできる最大の収穫かもしれない。いずれにしても、このような教養科目の成果を年度ごとに数値化して評価するようなことはほとんど不可能なことである。とはいえ、客観的に見て反省できる点は、第一に日程、第二に引率指導、第三に費用面にあると思われる。

第一に日程であるが、丸一日の移動なので、体力的にも間をあけて実施することは望ましいと思われる。他の集中講義との重なりも、かえって少なくできるので、これ自体はメリットである。しかし、見学先には週末のみ可のところもあれば、週末は不可のところもある。何より、見学できる月が決まっていたり、今回の増上寺の「正五九会」のように、年3回しか機会がなかったりすることもある。この場合は、他の集中講義があってもこちらを動かすことができない。

次回以降は、たとえば追加で5コース設定し、その中から4コースを選択させるなど、より多く参加しやすい体制を整えることも考慮したい。

第二に引率指導であるが、今回実施してみて、一人で10人程度というのは、移動にはそれほど問題はないかもしれないが、歩きながらであるとか、現地ですっきりと集めてであるとか、臨機応変の解説がなかなか難しいように思われる。今回4～5人でむしろちょうど良かったかもしれない。また、9月に入ってからの実施にしたにもかかわらず、今回は特に猛暑でもあったので、健康管理上の不安も感じた。引率者を二名にすることも検討すべきであろう。

最後に、費用の面がある。交通費、拝観料、昼食は自己負担としたが、特に一日目、二日目は往復の交通費がかかるので、学生の負担は少なくない。これはやむを得ない面もあるが、何らかの手当てができればそれに越したことはないであろう。

なお、受講生によるアンケートでは、問題点として説明が聞き取りにくいことがあったこと、昼食場所が見つかりにくかったことが挙げられていた。

見学場所として、今回は見送らざるを得なかった場所も多い。基督教関係では、聖公会以外のプロテスタント教会にて説明を聞くことがコース上でできなかった。聖公会も増上寺近くに主教座聖堂があるのだが、時間の都合で割愛した。芝の東照宮や東京大神宮も説明のみとした。荒川キャンパスに身近なところでは浅草などにも改めて訪れるべき場所は多い。たとえば、浅草神社の三社祭を知らない者は少ないが、その三社とは何かを知る者も案外少ない。他にも興味深い例としては、哲学者井上円了が哲学者を「四聖」としていわば神格化した中野の哲学堂がある。内部公開は4月と10月なので、今回は見送ったが、次回以降は追加日程としてここを中心に構成するのも面白いかもしれない。

これらの観点から、次年度以降も、充実した集中講座としていきたいと考えている。

別表1: 第一日 埼玉方面コース(9月2日(木))

	時刻	場所	費用	備考
		(池袋) ↓東武東上線 (若葉)		池袋から東武東上線の場合、 8:52発急行小川町行9:37着、 8:37発急行小川町行9:22着、など。
集合	9:45 9:56 10:00	★若葉駅(東武東上線)改札前 若葉駅 ↓東武バス川越駅行き 戸宮交差点前 ↓徒歩	¥170 運賃	
	10:05 11:00	聖天宮 (見学) 聖天宮 ↓徒歩	¥300 拝観料	道教の神社。解説を伺う。正式 な参拝をする場合は別に300 円~500円(希望者のみ)。
集合	11:12 11:16 12:05 12:11 12:20	戸宮交差点前 ↓東武バス若葉駅行き 若葉駅 (昼食休憩) ★若葉駅(東武東上線)改札前 若葉駅 ↓東武東上線池袋行き 川越市駅 ↓徒歩	¥170 運賃  ¥190 運賃	猛暑の場合、若葉駅から川越 駅に移動後昼食、バス利用で 喜多院に向かい、その後成田 山川越別院、川越キリスト教 会、蓮馨寺の順に回る。
	12:35 12:45	川越キリスト教会 (見学) 川越キリスト教会 ↓徒歩		日本聖公会の教会。大正時代 の煉瓦積み切妻造の聖堂を見 学。
	13:00 14:00	喜多院 (見学) 喜多院 ↓徒歩	¥400 拝観料	天台宗の寺院。境内のほか本 堂と五百羅漢拝観、東照宮にも 立ち寄る。
	14:10 14:20	成田山川越別院 (見学) 成田山川越別院 ↓徒歩		真言宗の寺院。護摩行に参列。
	14:30 14:45	蓮馨寺 (見学) 蓮馨寺 ↓徒歩		浄土宗の寺院。
解散	16:30	自由見学 ↓徒歩・バス ★川越駅(JR、東武)・本川越駅(西武) ↓JR、東武東上線、西武新宿線 (池袋ほか)	¥170 運賃	(川越の町並みと社寺を自由見学)
		費用計(往復運賃・昼食代除く)	¥1,400	
		往復運賃参考(荒川キャンパスから)		
		南千住駅→若葉駅	¥660	
		川越駅→南千住駅	¥610	
		往復運賃参考(品川キャンパスから)		
		青物横丁駅→若葉駅	¥880	
		川越駅→青物横丁駅	¥830	

別表2: 第二日 横浜方面コース(9月7日(火))

	時刻	場所	費用		備考
集合	9:30	★JR鶴見駅東口(駅外地上) ↓徒歩			京急利用者は西口出てJR東口前に行く。 JR利用者は、駅中には総持寺方面は西口と案内があるが、京急利用者と合流するため、西口改札を出て外に降り(途中、小さな神社がある)
	9:45 11:15	総持寺(見学) 総持寺 ↓徒歩	¥400	拝観料	解説を伺いながら諸堂参拝の予定。
集合	11:34 11:52	鶴見駅 ↓JR 保土ヶ谷駅(昼食休憩)	¥210	運賃	駅周辺にコンビニ・飲食店あり。
	12:40	★保土ヶ谷駅西口前 ↓徒歩			
	12:50 13:10	神明社(見学) 神明社 ↓徒歩			天照大神、豊受大神などをまつる(神明社前の庚申堂も見学) 周辺の寺も確認。
	13:20 13:42	保土ヶ谷駅 ↓ 元町・中華街駅 ↓徒歩	¥330	運賃	
集合	13:50 15:30	アメリカ山公園 ↓徒歩 外国人墓地・資料館 ↓徒歩 山手自由見学 ↓徒歩 ★山手イタリア山庭園入り口			外国人墓地を出た後は、山手聖公会・カトリック山手教会(見学可)を通過、山手資料館(学生150円)、イタリア山庭園内の諸展示館などを自由見学。港の見える丘公園に立ち寄り可。
		↓徒歩 石川町駅 ↓徒歩			
	15:40 16:00	関帝廟(見学) 関帝廟 ↓徒歩			関羽をまつる。参拝の場合500円(線香代)。
	17:30	中華街自由見学 ↓徒歩 ★関内駅			開港資料館(入場16:30まで、200円)等横浜港方面見学可。
解散		費用計(往復運賃・昼食代除く)	¥940		
		往復運賃参考(荒川キャンパスから) 南千住駅→鶴見駅	¥540		
		関内駅→南千住駅	¥690		
		往復運賃参考(品川キャンパスから) 青物横丁駅→京急鶴見駅	¥230		
		関内駅→青物横丁駅	¥400		

別表3: 第三日 都内1コース(9月11日(土))

	時刻	場所	費用	備考
<b>集合</b>	8:45	★九段下駅・出口1「地下」		案内を見て「出口1」に向かってください。気をつけないとかなり遠回りになります。出口1の「地下」で待ち合わせます。
		↓徒歩		
	9:00	靖国神社 (見学)	¥200	入場料 (希望者)
	9:50	靖国神社		
		↓徒歩		
	10:00	千鳥ヶ淵戦没者墓園 (見学)		猛暑の場合、市ヶ谷駅からJR利用で四谷駅へ移動。
	10:10	千鳥ヶ淵戦没者墓園		
		↓徒歩		(途中、ローマ法王庁大使館、心法寺など通過)
	10:30	イグナチオ教会 (見学)		カトリック教会。3つの礼拝堂を見学予定。
	11:00	イグナチオ教会		
		↓徒歩		
	11:05	四谷駅	¥150	運賃
	11:20	↓JR中央線快速 御茶ノ水駅(聖橋口) (昼食休憩)		
<b>集合</b>	12:10	★御茶ノ水駅聖橋口改札付近		
		↓徒歩		
	12:15	湯島聖堂 (見学)	¥200	拝観料
	13:00	湯島聖堂		
		↓徒歩		
	13:05	神田神社 ↓(見学)	¥200	拝観料
	14:00	神田神社		
		↓徒歩		(途中、妻恋神社を通過)
	14:15	湯島天満宮 (見学)		菅原道真公を祀る。 猛暑の場合、神田神社から新茶の水駅に戻り、千代田線湯島駅から天満宮へ。
	14:25	湯島天満宮		
		↓徒歩		
	14:30	上野公園・寛永寺 (見学)		寛永寺は上野公園内・近辺に散在しています。弁天堂、清水観音堂、根本中堂、両大師などを順に回り、花園稲荷、東照宮などにも立ち寄ります。最後に東京大空襲の慰霊碑に立ち寄ります。
	16:30	上野公園・寛永寺		
		↓徒歩		
<b>解散</b>	16:40	★上野駅		
		費用計(往復運賃・昼食代除く)	¥750	

別表4: 第四日 都内2コース(9月15日(水))

	時刻	場所	費用	備考
集合	9:15	★都営三田線御成門駅A5出口地上 ↓徒歩		
	9:25	愛宕神社 (見学)		月例祭で開帳あり。
	9:50	愛宕神社 ↓徒歩		(安蓮社で増上寺歴代僧正の墓地見学など)
	10:00	増上寺 (見学)		浄土宗。徳川將軍墓所の無料公開、年三回の本尊の開帳・経蔵の内部公開もある。
	10:45	増上寺 ↓徒歩		
	10:59	大門駅 ↓都営大江戸線	¥170 運賃	
	11:03	築地市場駅 ↓徒歩		
	11:10	水神社・波除稻荷神社 (見学)		もともと築地本願寺の地所を提供されたのが築地市場。市場内の神社を見学。
	11:30	水神社・波除稻荷神社 (昼食休憩)		昼食は場外市場でもよいし、交差点付近にはマクドナルド、コンビニ、ファミレスもあります。
集合	12:20	★築地四丁目交差点 ↓徒歩		
	12:25	築地本願寺 (見学)		正式には浄土真宗本願寺派(西本願寺)築地別院。本堂を見学。
	12:45	築地本願寺 ↓徒歩		
	12:50	築地駅 ↓地下鉄	¥190 運賃	
	13:10	代々木上原駅 ↓徒歩		
	13:20	東京ジャーミイ (見学)		女性はスカーフの着用が必要。備え付けのものも借りられるが、なるべく持参すること。
	14:20	東京ジャーミイ ↓徒歩		
	14:30	代々木上原駅 ↓地下鉄千代田線	¥190 運賃	
	14:50	新御茶ノ水駅 ↓徒歩		
	15:00	ニコライ堂 (見学)	¥300 見学料	日本ハリストス正教会。正式には東京復活大聖堂。説明を伺う予定。
	16:00	ニコライ堂 ↓徒歩		
	16:15	柳森神社 (見学)		江戸時代の出世祈願のお狸様などを祀る。秋葉神社の末社、力石なども。
	16:30	柳森神社 ↓徒歩		
解散	16:45	★秋葉原駅		
		費用計(往復運賃・昼食代除く)	¥850	